

交野山ハイクと白旗池での野鳥観察

担当 6 班



交野山(こうのさん 344M)は、頂上に観音岩と呼ばれる巨岩が一つそびえる珍しい山です。生駒山地の北端にあり、巨岩の上からは大阪・京都方面を一望できます。夜に登れば美しい夜景を見ることができ、岩の先は崖になっており危険です。また関西文化学術研究都市の地域にも含まれており、交野市の象徴的な山です。巨岩の西側(大阪方面)には梵語が刻まれているので、見落とさないようにしましょう。

当初、全員交野山に上がろうと考えていましたが、交野山付近の勾配がかなりきつく、特に石仏コースからの上り下りが危険なので、国見山を通して白旗池に行く一般コースと石仏コースから交野山や白旗池を目指す健脚コースに分けることにしました。国見山も交野山も展望は素晴らしいです。昼食はどちらのコースも白旗池のある「ふれあいセンター」前です。地図などを見られて、合ったコースをお選びください。

また、昼食時間をたっぷり取っていますので、野鳥観察や展示施設の見学、そして周辺は自由に散策ください。

1. 実施日： 平成 31年 1月 18日(金)

2. 集合場所： JR学研都市線 津田駅

3. 集合時間： 10時 (一例：京橋駅 9:24発 快速⇒河内磐船駅 普通乗換⇒津田駅 9:52着)

4. 行程： ①石仏コース(健脚向き)

津田駅⇒石仏の道⇒交野山⇒ふれあいセンター(昼食・班長会・集合写真・WC)⇒国見山⇒津田駅
10:15 発 12:15 着 13:15 発 15:00 着

②国見山コース(一般向き)

津田駅(WC)⇒国見山⇒ふれあいセンター(昼食・班長会・集合写真・WC) ⇒せせらぎの道⇒津田駅
10:15 発 11:45 着 13:15 発 15:00 着

5. 持ち物： 昼食、飲物、雨具、敷物、ストック、観察用具、双眼鏡など、ハイキングスタイル

6. 実施可否： 前日17:00の天気予報で降水確率 50% 以上であれば中止します。
、
この場合、20:00 迄にそら全体メールで連絡します。

7. 参加確認： 各班長さんは11日(金)までに、コース別参加者名簿(別添)を6班乾
、
班長へ報告してください。

8. 注意事項： 道迷いを防ぐため、前の人との間をあけないようにお願いします。
また、住宅地では、静かに歩行願います。



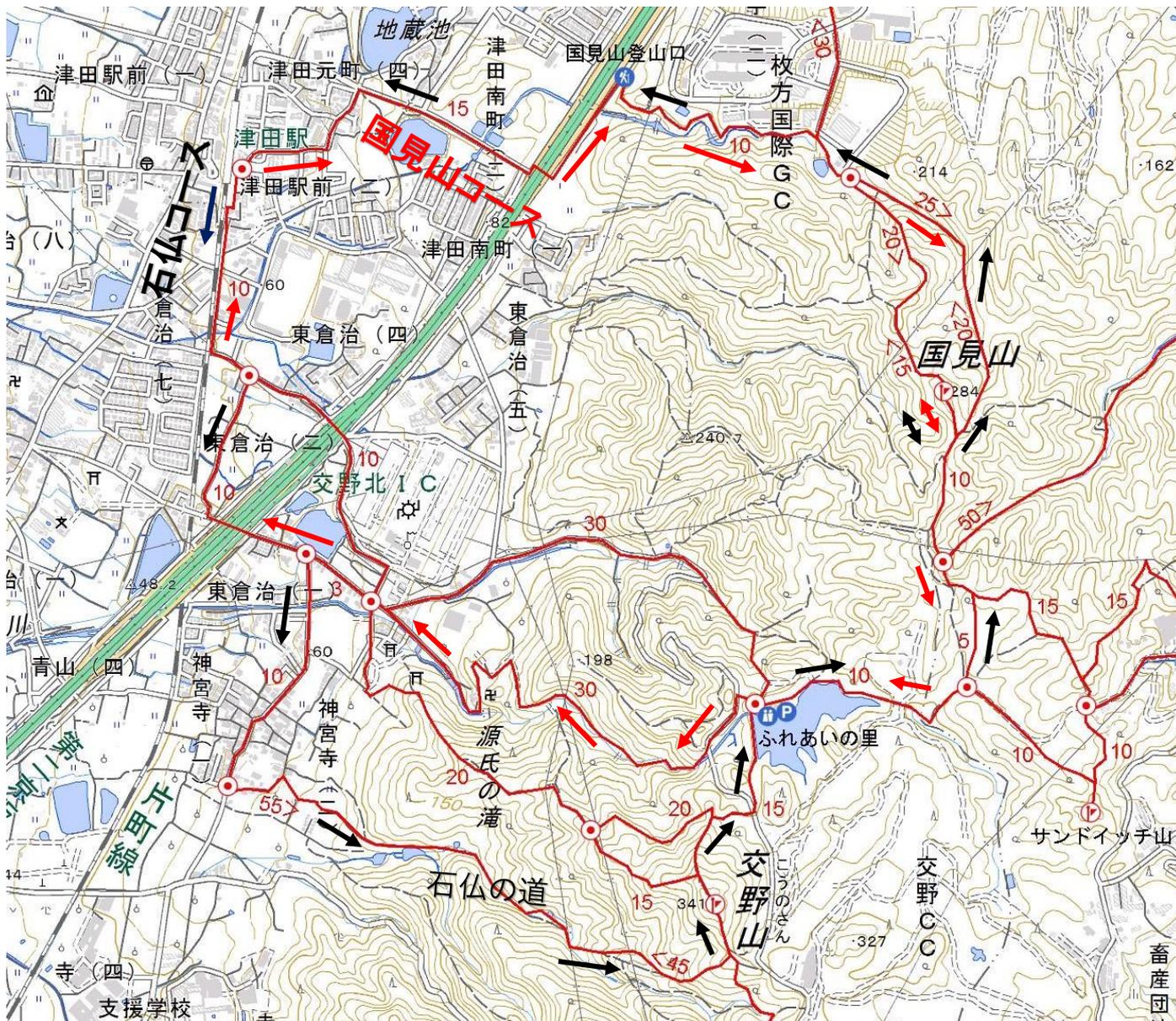
参考(ネットより引用)

交野山への登山路は、倉治集落から“源氏の滝”を経て入る免除川沿いの路と、その南・神宮寺集落から入る路とがあり、後者は“石仏の道”と呼ばれる。曾て繁栄を誇った開元寺への参詣路である。

この石仏の道沿いには、その名の由縁となる鎌倉時代から室町時代にかけて制作された5軀の石仏(崖仏を含む)の他、旧石器・縄文時代の遺跡各1処・廃開元寺跡(推定地)などが点在し、交野山の頂上附近には通称“観音岩”を中心とする幾つかの巨岩(磐座)群が座っている。

- | | |
|--------------|--------------|
| ①：天平時代開元寺推定地 | ②：神宮寺縄文時代住居跡 |
| ③：弥勒菩薩石仏 | ④：神宮寺先縄文時代遺跡 |
| ⑤：二尊石仏 | ⑥：阿弥陀如来立像石仏 |
| ⑦：阿弥陀三尊磨崖仏 | ⑧：阿弥陀三尊磨崖仏 |
| ⑨：岩倉開元寺多宝塔跡 | ⑩：岩倉開元寺推定地 |
| ⑪：交野山の磐座 | |





※ ← 石仏コース ← 国見山コース 地図内の赤数字は、一般的な歩行時間。

◆いきものふれあいセンター:

交野山と白旗池一帯に設けられた「交野いきものふれあいの里」のなかにある自然観察施設。

四季折々の豊かな自然が楽しめる。

「いきものふれあい」という名前がついているが、さわられる動物は飼育していない。植物、昆虫、鳥、動物など、自然すべてが「いきもの」と考えたネーミングである。

◆自然研究路:

自然研究路は巾1.5m~3.0mで石や擬木で階段が作られており、自然観察がゆったりとできる。

◆自然観察ゾーン:

野鳥や昆虫などが好む樹木(高中木1,262本、低木2,623本)が植えられ、観察小屋などで野鳥の生態をじっくり観察できる。

◆白旗池:

白旗池の周辺は、水と緑のコントラストが素晴らしく、水辺の動植物が身近に見られる。

また、ここから見える桜に映える交野山、紅葉に輝く交野山など四季折々の優美な姿が水面に映し出される。

